

# 県議会 とちぎ

2011年1月30日

No. 97

編集・発行 栃木県議会  
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20  
TEL 028-623-3772  
FAX 028-623-3755  
E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp  
HPアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/assembly/

## 第304回定例会 (平成22年12月)

### 総額128億2,066万円の 平成22年度一般会計補正予算を可決

第304回県議会定例会は、11月30日から12月14日まで、15日間の会期で開かれました。開会日には福田知事が提出議案の説明等を行い、12月2日、3日及び6日には、上程議案及び県政全般に関する質疑・質問が行われました。また、閉会日にも福田知事が追加提出議案の説明等を行いました。

本定例会では、知事から提出があった24議案(予算3件、条例11件、その他10件)と議員から提出があった8議案(条例1件、意見書7件)が原案どおり可決され、第303回県議会定例会で閉会中の継続審査とされていた平成21年度決算7件が認定されました。請願・陳情については、4件が採択、1件が趣旨採択、2件が不採択、10件が継続審査となりました。

また、開会日には、本会議終了後、9名の議員に対する栃木県議会永年在職功労者等の表彰がありました。

#### 可決された主な議案

- 平成22年度栃木県一般会計補正予算(第3号) ■平成22年度栃木県一般会計補正予算(第4号)
- 栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について
- 市町の廃置分合について(栃木市、上都賀郡西方町)

#### 採択及び趣旨採択された陳情

- ◆私学振興対策に関する陳情 ◆私立幼稚園の振興対策に関する陳情
- ◆子宮頸がん予防措置の推進を求める政府への意見書提出に関する陳情
- ◆国に対する「子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める」意見書提出を求める陳情
- ◆「塩原視力障害センターの存続を求める意見書」提出に関する陳情

#### 可決された意見書

- 私学振興対策に関する意見書 ●子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書
- 朝鮮学校を高校授業料無償化の対象とすることについての意見書
- 「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の失効期日の延長を求める意見書
- 社会資本整備に必要な財源の確保を求める意見書 ●子ども手当財源の地方負担に反対する意見書
- ヒトT細胞白血病ウイルス1型総合対策を求める意見書



本会議質疑・質問の様子

### 第304回定例会 代表・一般質問者及び質問項目

<p>七 思川開発事業</p> <p>六 獣害対策</p> <p>五 高等特別支援学校の設置</p> <p>四 学力の向上</p> <p>三 災害に強いとちぎづくり</p> <p>二 がん対策</p> <p>一 次期総合計画</p>	<p>小林 幹夫 (自民党)</p>	<p>八 宇都宮市南部地区の諸課題</p> <p>七 フードバレーとちぎの取組</p> <p>六 難病対策</p> <p>五 「新しい公共」</p> <p>四 生物多様性の保全対策</p> <p>三 緊急経済対策</p> <p>二 県訪中団の成果と今後の方向性</p> <p>一 地域主権改革</p>	<p>佐藤 栄 (民主・無所属)</p>	<p>八 国との経済交流</p> <p>七 副知事訪中の成果と今後の中国浙江省との交流</p> <p>六 県立図書館のあり方</p> <p>五 総合スポーツゾーンの整備</p> <p>四 ファシリテイーマネジメント</p> <p>三 携協定)に関する知事の考え</p> <p>二 平成二十三年度の予算編成</p> <p>一 国の補正予算と県の対応</p>	<p>螺良 昭人 (自民党)※</p>
<p>八 特別養護老人ホーム入所待機者の解消</p> <p>七 特別支援教育の充実</p> <p>六 二次救急医療体制の確保</p> <p>五 マスコットキャラクターを活用した県のイメージアップ</p> <p>四 市町村と連携した観光振興</p> <p>三 企業誘致の促進</p> <p>二 地域づくり活動に対する支援</p> <p>一 次期総合計画</p>	<p>琴寄 昌男 (新政)</p>	<p>八 小規模事業者への支援強化</p> <p>七 栃木らしい食による観光地等活性化</p> <p>六 廃棄物処理対策の推進及び強化</p> <p>五 那須塩原地域の道路整備</p> <p>四 国道四号西那須野道路の整備</p> <p>三 国道四〇〇号下塩原バイパスの整備</p> <p>二 水田農業の活性化対策</p> <p>一 次期総合計画における「元気度日本一 栃木県」の実現</p>	<p>阿部 寿一 (無所属県民)</p>	<p>九 観光立県に向けた取組</p> <p>八 那須地域の観光振興</p> <p>七 パークアンドバスライド</p> <p>六 再生可能な木質バイオマスの利用促進</p> <p>五 地上デジタル放送の難視対策</p> <p>四 高齢者見守りネットワーク構築</p> <p>三 酪農の振興</p> <p>二 就労体験や社会体験等への取組</p> <p>一 中国との経済交流</p>	<p>増淵 三津男 (みんな)</p>
<p>五 知事のこれからの県政経営</p> <p>四 一般県道大橋家中線の新道整備に伴う三〇五号踏切の除去問題</p> <p>三 下都賀総合病院問題</p> <p>二 学校教育に対する県の支援施策</p> <p>一 県の「介護問題」への取組</p>	<p>保母 欽一郎 (民主・無所属)</p>	<p>七 栃木県農業の活性化</p> <p>六 小規模事業者への支援強化</p> <p>五 水田農業の活性化対策</p> <p>四 明日につながる農業づくり</p> <p>三 戦略的などちぎの農業づくり</p> <p>二 とちぎの教師力・教育力の向上</p> <p>一 次代を担うとちぎの青少年の育成</p>	<p>小瀧 信光 (自民党)</p>	<p>八 東部幹線道路の整備</p> <p>七 佐野市南部開発に伴う渡良瀬架橋設置</p> <p>六 県の社会基盤の整備</p> <p>五 発達障害者に対する支援</p> <p>四 県民の歯の健康づくり</p> <p>三 低炭素社会の構築</p> <p>二 再生可能エネルギーを利用した</p> <p>一 とちぎの子ども育成憲章</p>	<p>金子 裕 (自民党)</p>

■ 県議会広報テレビ番組のお知らせ ■

「県議会へようこそ」(とちぎテレビ)を通じて、県議会の動きなどを皆さまにお届けしています。番組内容は次のとおりです。ぜひご覧ください。

□ 県議会へようこそ

第7回 県議会活動を振り返って

本放送 2月12日(土) 午前9時30分～9時45分

再放送 2月17日(木) 午後8時15分～8時30分

注( )は所属会派

(自民党)栃木県議会自由民主党議員会

(民主・無所属)民主党・無所属クラブ

(みんな)みんなのクラブ

(無所属県民)無所属県民クラブ

(新政)新政クラブ議員会

※は代表質問

裏面の「本会議質疑・質問から」に掲載している質問項目は、太字で表示してあります。

一 県政の課題に対する戦略的取組

(一) 有名実力県の確立

(二) 保健医療圏の見直し

(三) 教員採用試験

(四) 治安情勢と安全安心の確保

二 広域連合

三 社会資本整備に対する知事の考え

四 栃木障がいフォーラムとの連携

五 アンテナショップ



# 第304回定例会 本会議質疑・質問から

主な質疑・質問の要旨と、これに対する知事など執行部の答弁の要旨は次のとおりです。

## マスコミキャラクターを 活用した県のイメージアップ

**問** 「無名有力県」から「有名有力県」に向けて県の統一マスコットキャラクターを設定し、様々なイベント等に積極的に使い、県のイメージアップを図るべきと考えますが、県の考えを聞きたい。

**答** 本県においても、「ルリちゃん」を初め分野別又は施設等のマスコットが二十七種あり、様々なイベントや広報等で活用されるなどし、最近ではスボレック「エコとちぎ」の「とちまるくん」が県外へのPRに一役買うなど、キャラクターを活かしたイメージアップに取り組んでいる。今後とも、これらの取組を通じ県内外へのPRに努める他、他県の状況等を十分参考にしながら、県の統一マスコットキャラクターについて、その有効性も含めて検討していく。

## 災害に強いとちぎづくり

**問** 「栃木県地域防災計画」において、災害時における救急医療活動業務を位置付けているのは、医師会と看護協会のみであるが、歯科医師をはじめ、薬剤師や柔道整復師、歯科衛生士、歯科技工士等の高い専門性を活かした役割を計画にしっかりと位置付けることにより、相互の認識と連携を深め、迅速で的確な対応ができるものと考えます。そこで、災害時における医療関係団体との連携についてどう考えるか聞きたい。

**答** 県では栃木県医師会や医療機関等と協定を締結し、災害時における協力体制の確立を図っている。現在、栃木県歯科医師会や栃木県柔道整復師会との協定締結に向けた協議を進めている。今後とも、医療関係団体の専門性を踏まえ、災害時医療救護体制の一層の充実を図っていく。

## 中国との経済交流

**問** 厳しい状況にある本県経済の活性化に向け、発展めざましい中国との経済交流を進めていく必要がある。そこで、中国への県産品の海外販路開拓や中国人観光客の誘客等、今後の中国との経済活動の促進について、知事に聞きたい。

**答** 十三億人を超える人口を有する中国は世界中から注目されるマーケットのため、今後は、中国国内の経済動向の情報収集に努めるとともに、食品見本市・商談会の出店を通して販路開拓の具体化を図っていく。また、中国人観光客についても宣伝活動を強化し、更なる誘客を図っていく。加えて、現在策定を進めている新とちぎ元気プランでも明日を拓く成長戦略において海外への販路開拓や外国人観光客の誘客を位置付け、中国との経済活動の促進のため、積極的に施策を推進していく。

## 東部幹線道路の整備

**問** 東部幹線道路は佐野市内の各地区を結ぶ幹線道路となることにも、国道一九三号のバイパスとしても、地域の交流促進や発展を支える重要な道路であるが、今後の整備の見通しを聞きたい。また、整備にあたっては、葛生南小周辺の歩道整備を優先することが地元の理解と協力を得やすいと思つが、県の考えを聞きたい。

**答** 新佐野市の一体化及び将来の発展を図るには、広域的な道路ネットワークの整備などが必要のため、県としては、佐野市東部幹線道路の整備を検討している。整備に先立ち都市計画決定が必要のため、早期にルートを確認し、都市計画決定に向けた地元説明会を開催する。また、整備にあたっては、葛生南小の周辺に歩道がないことなどを勘案しながら優先区間を設定し、整備に入りたい。

## 教員採用試験

**問** 優秀な教員を確保するため、本県独自の採用方法を取り入れる必要がある。臨時採用の教員の場合、日々の学校業務に追われ、採用試験の受験には不利になる。そこで、有能な教員志望者に対し、一次試験を免除する制度を一刻も早く導入すべきであると考えますが、今後どのように取り組むのか、教育長に聞きたい。

**答** 試験の一部を免除する特別選考については、試験の公平性と透明性の確保という観点から、教員に必要な資質や能力が十分に確認できる、明確な規程が必要である。臨時採用の任用教員の中には、正規教員に劣らない実力を有する者もいるため、一定の配慮も必要である。こうした優秀な教員を採用するため、新たな特別選考を導入することとし、本年度中に概要を公表できるように、現在作業を進めている。

**問** 県立施設のうち宇都宮市と重複する県立施設については、役割分担等を市と協議し、県の考えを早急にまとめる必要があるが、施設の課題等について、今後どのような考え方を基本に、どのような体制で宇都宮市との協議を進めていくのか知事に聞きたい。

**答** 宇都宮市内の県有施設は、同市の位置や県民の利便性などから、これまで数多く設置されてきたが、県の施設は、その設置目的や役割において市の施設とは自ずと異なるものがある。しかし、今後、これらの施設のあり方等の見直しを行うに当たっては、宇都宮市のまちづくりなどに影響を及ぼすことも十分に考慮し、お互いに必要な情報を交換していくことが重要であると考えており、総合的な情報交換や調整を行っていく。

## 知事のこれからの県政経営

**問** 市町村が発展すれば、おのずと県の発展につながる。「新とちぎ元気プラン」には、市町村を発展させるための構想を明確に示すことが重要であると考えますが、知事の考えを聞きたい。また、地方分権地域主権が推し進められる中にあるのは、今のような宇都宮一極集中体制では、まずまず地域間格差は広がるばかりであり、地域分散型の「広域連合都市」構想について検討することを要望する。

**答** 県と市町村は対等な協力関係であり、県は県、市町村は市町村で独自のプランを作成し、互いの協力関係の中で補完していくことが大切である。このことで、県は

## EV・PHVタウン構想

**問** 地球温暖化対策の推進に向け、温室効果ガスを効果的に削減していくためには、環境に配慮した次世代自動車の普及が急務である。折しも国では、電気自動車の本格的な普及に向けたモデル事業として、EV・PHVタウン構想に関する提案募集を行っている。本県でもその第二期募集に提案書を提出したと聞いている。そこでこの構想に提案した意義は何か、また今後の電気自動車への

転換をどのように推し進めていくのか知事に聞きたい。

**答** EV・PHVタウン構想の推進については、自動車、電気、充電、設備、通信、流通、市町村などの幅広い業界・団体の協力が不可欠である。そのため、これらの業界・団体を構成員とする協議会を新年度早期に設立し「EV・PHVタウン構想」の実現に協働して取り組んでいく。

## 明日につなぐとちぎの農業へ

**問** 高齢化や後継者不足、更にTPPと様々な課題を抱える中、本県農業を将来にわたって持続可能な足腰の強い産業としていくための施策が求められるが、次期農業振興計画

の中で本県の農業振興をどのように展開していくことなのか知事に聞きたい。

**答** 活力ある郷土とちぎを築くためには、基幹産業である農業が元気になることが必要である。「成長産業として発展する」とちぎの農業を基本目標に、知恵と技術により農業活力を高めていく。プロ農家育成、高付加価値化を目指すフードバレーとちぎの推進等、重点的戦略的に取り組む他、園芸を通じた心の癒し等、県民誰もが元気になるユニバーサル農業を推進していく。

## 宇都宮工業高高校の学校開放

**問** 宇都宮工業高高校が来春開校を迎えるが、地元住民の話題の中心は、学校の開放

である。専門分野の知識や技能等に関するノウハウ等の蓄積、そして新校としての成果を夏休み等に公開講座として県民に還元したり、実習室や体育館、グラウンド等の施設を放課後や休日に関放してはどうかと考える。県の考えを聞きたい。

**答** 宇都宮工業高高校は、本県の工業教育に関する様々な情報発信の拠点校を指しており、地域住民等を対象とした最先端技術や伝統技術に関する講座、小中学生対象のものづくり体験教室などの公開講座等を開催する予定である。施設の開放については、学校本来の教育活動に十分配慮した上で、利用者の安全確保や施設の管理方法等も含めて検討すべきものと考えます。

## 議会のうきぎ

◆「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」が成立  
今定例会において、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例案」が十五名の議員から提出され、十一月三十日の本会議での趣旨説明の後、生活保健福祉委員会での審査を経て、十二月十四日の本会議において、原案のとおり可決成立しました。

## 議会コンサートのお知らせ

二月十八日(次回定例会開会日)午前十時から、議事堂一階ホールで栃木県交響楽団と宇都宮ユース邦楽合奏団による演奏会が行われますので、ぜひご来場ください。  
詳しくは議会事務局総務課(電話〇二八-六三三-三七五四)までお問い合わせください。

## 第305回 県議会定例会の開催予定

第305回定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議や委員会はどなたでも傍聴することができます。また、本会議(質疑・質問)及び予算特別委員会(総括質疑)については、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、インターネットで生中継されます。

月 日	内 容	開始時刻	月 日	内 容	開始時刻
2月18日(金)	本会議(開会・議案上程)	コンサート終了後	3月 2日(水)	議案調査	
21日(月)	議案調査		4日(金)	予算特別委員会(総括質疑)	午前10時
22日(火)	議案調査		7日(月)	常任委員会	午後1時30分
23日(水)	議案調査		8日(火)	常任委員会	午後1時30分
24日(木)	本会議(質疑・質問)	午前10時	9日(水)	常任委員会	午後1時30分
25日(金)	議案調査		11日(金)	予算特別委員会(採決)	午後2時
28日(月)	議案調査		14日(月)	議会運営委員会	午前11時
3月 1日(火)	議案調査		15日(火)	本会議(採決・閉会)	午前10時

詳細は、県議会事務局議事課(TEL 028-623-3761)までお問い合わせください。